

第6回 札幌市公共交通協議会 地域公共交通会議手稲区部会

報告資料

手稲区デマンド交通
令和5年9月末までの実績について

目次

1. 現在の運行概要 P 2
2. これまでの利用状況（令和5年9月30日時点） . . . P 4
3. その他の取組 P10
4. 検証・評価 P12
5. 今後のスケジュール P13

手稲区におけるデマンド交通実証実験について

1. 現在の運行概要

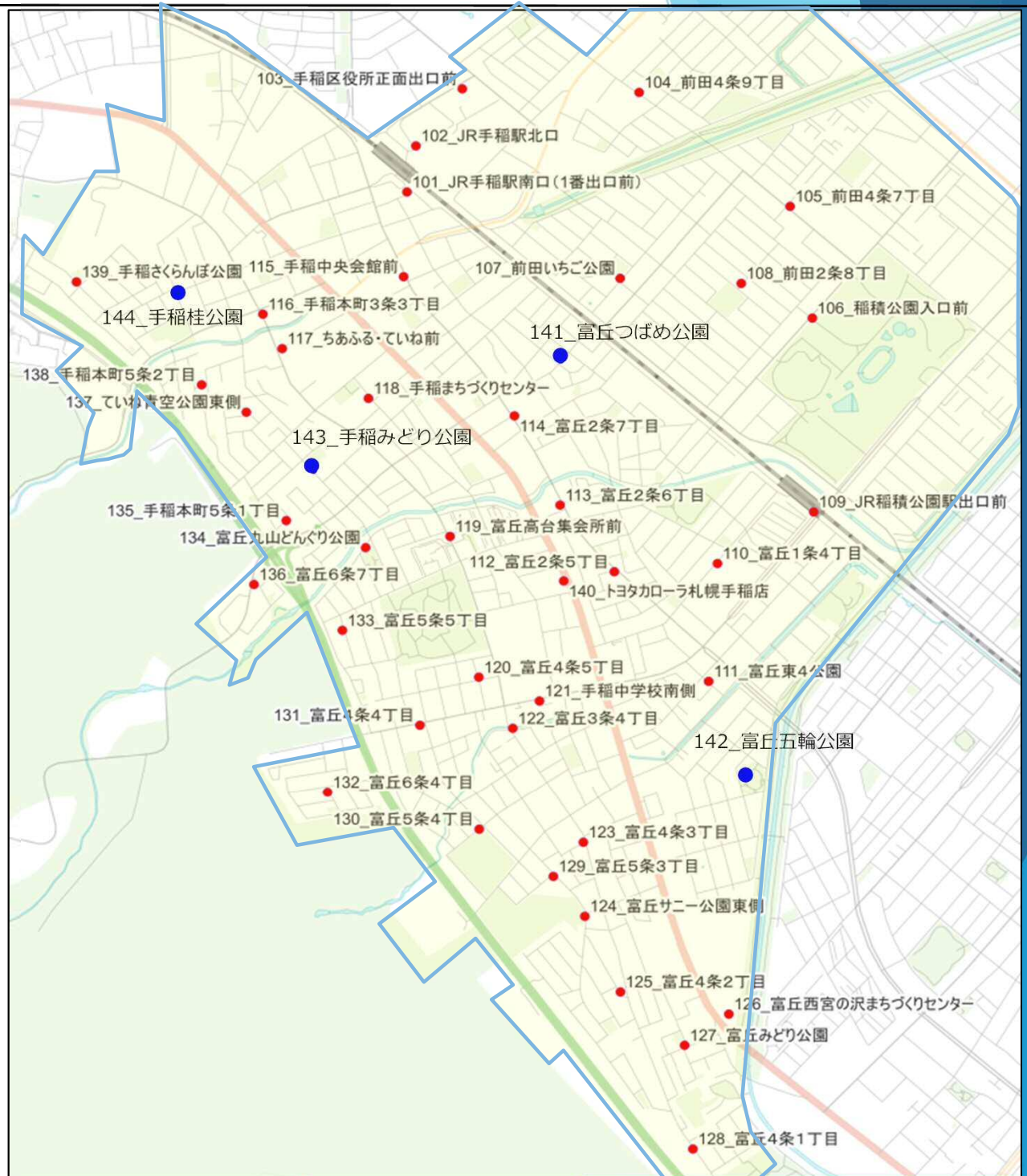
実施期間	令和4年11月21日～令和6年3月31日まで ※祝日および12月29日～1月3日までを除く平日の運行
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3） ※事前に設定した乗降ポイント間を運行する 自由経路ミーティングポイント型
運行車両	定員10名のワンボックス車両（乗客定員は8名）1台（+予備車8台）
利用可能時間	9:00～16:00
利用者	事前会員登録者
利用方法	電話またはインターネットを利用した事前予約制 ※予約受付時間は利用の1週間前から30分前まで
運行経路	予約に基づきAIシステムが自動生成した経路を運行
運賃	350円/回人（現金のみ対応） ※ただし、高齢者（70歳以上）は150円/回人、障がい者手帳保有者は150円/回人、 6歳以上～12歳未満（小学生）は150円/回人、6歳未満（乳幼児）は無料
運行事業者	東邦交通株式会社（札幌市西区発寒14条11丁目1-15）
事前予約の手段 （予約システム）	トヨタグループ「株式会社アイシン」が開発・運営しているデマンド型 交通「チョイソコ」システムを利用
道路運送法上の位 置づけ	道路運送法第21条による運行 （国土交通大臣の許可を受けた場合等における、貸切バス事業者、タクシー 事業者による乗合旅客の運送）

手稲区におけるデマンド交通実証実験について

1. 現在の運行概要

運行区域及び乗降場所

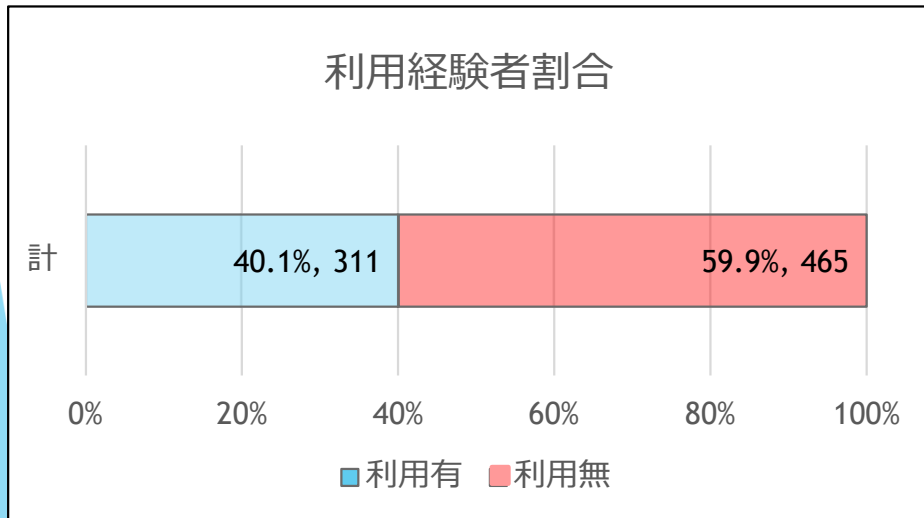
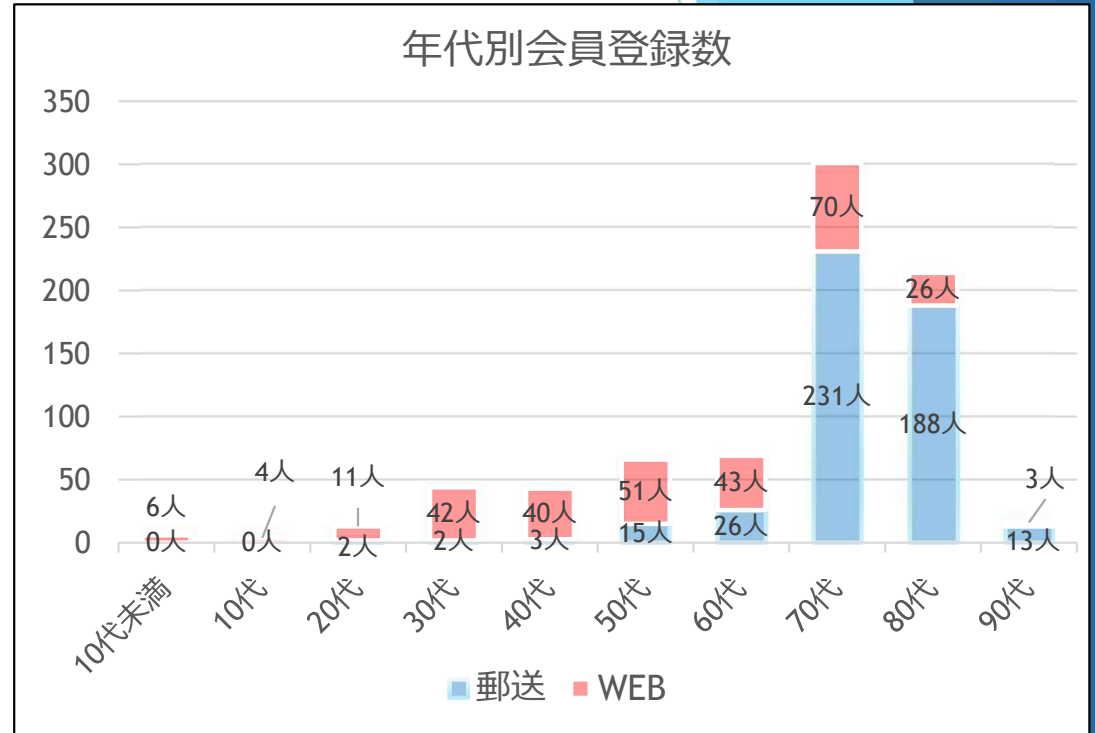
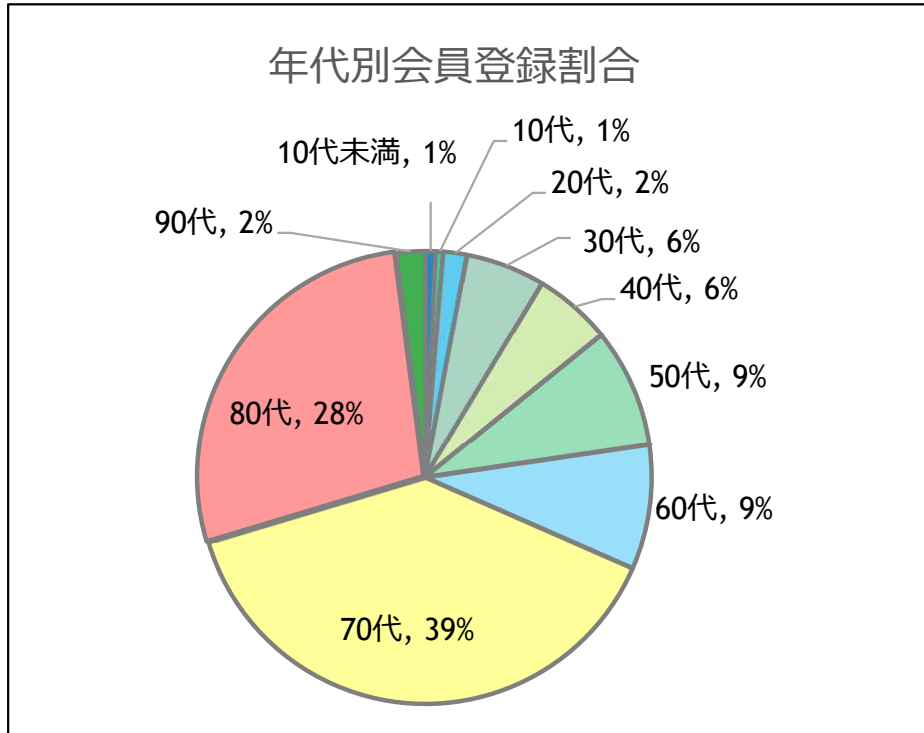
- ・黄色の枠内が運行区域
- ・当初40か所の乗降場所を設置
→R5.6.23に4か所追加し、
現在は44か所



手稲区におけるデマンド交通実証実験について

2. これまでの利用状況（令和5年9月30日時点）

<会員登録状況>

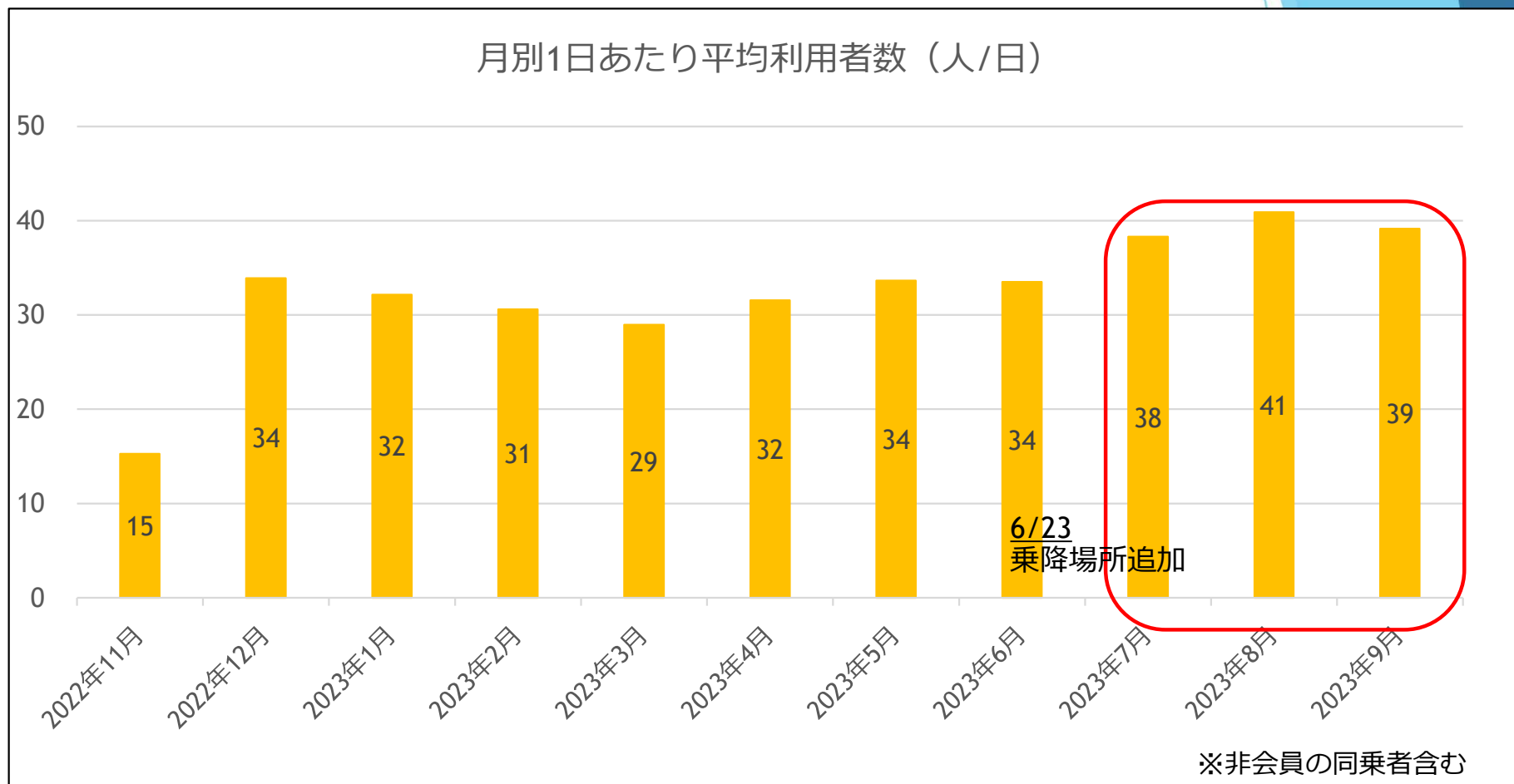


・会員登録数及び利用経験者数及び割合が増加

	4月末	9月末（今回）
会員登録数	674人	776人（+102人）
（70代以上の割合）	67%	69%
WEB登録の割合	38%	38%
（70代以上の場合）	19%	19%
利用経験者数	251人	311人（+60人）
利用経験者割合	37%	40%（+3%）

2. これまでの利用状況（令和5年9月30日時点）

<利用人数>

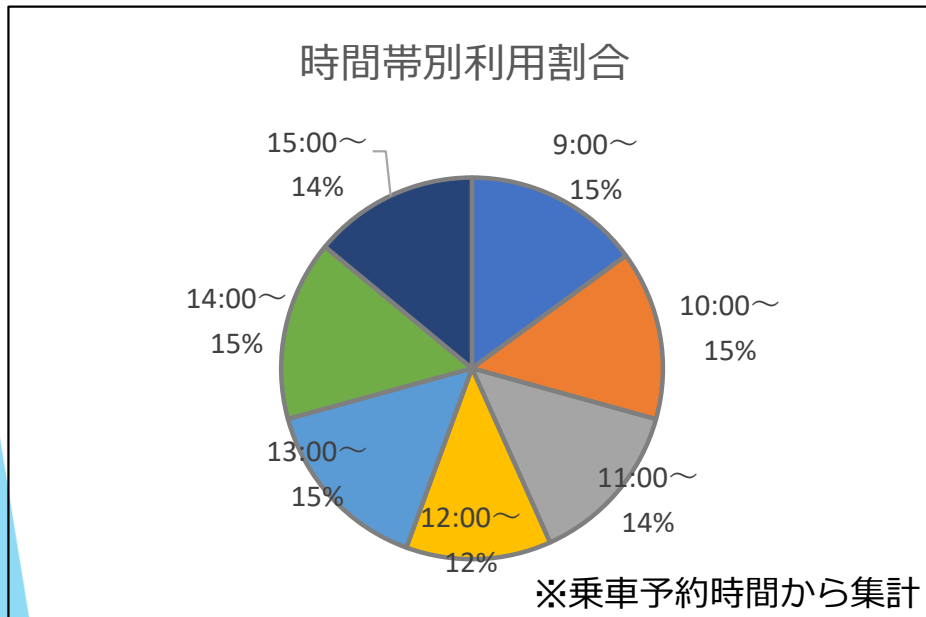
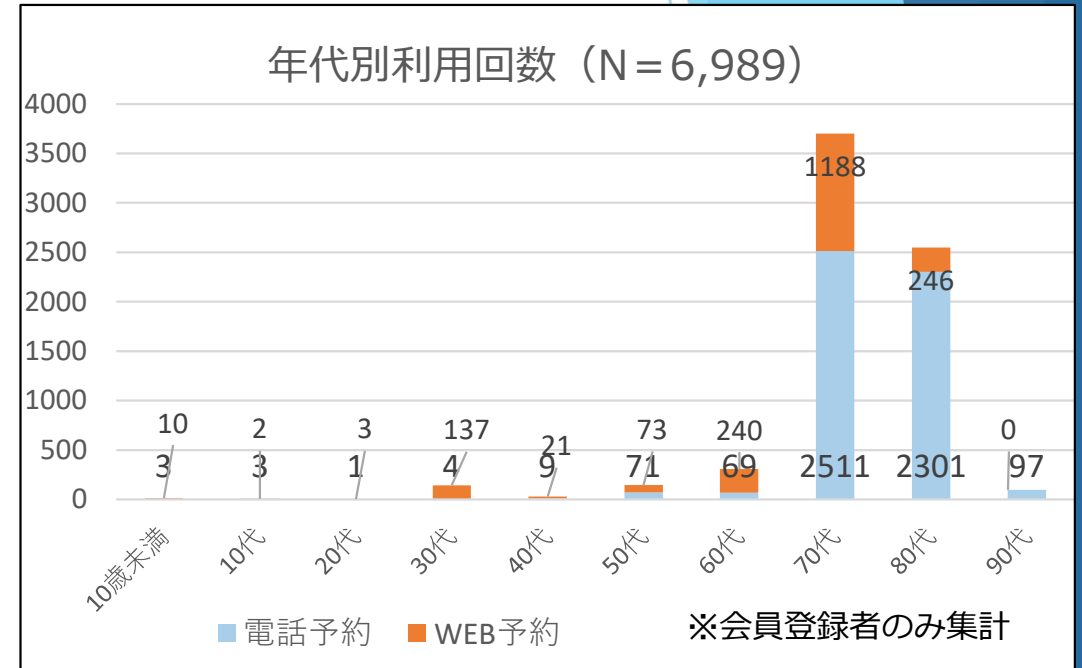
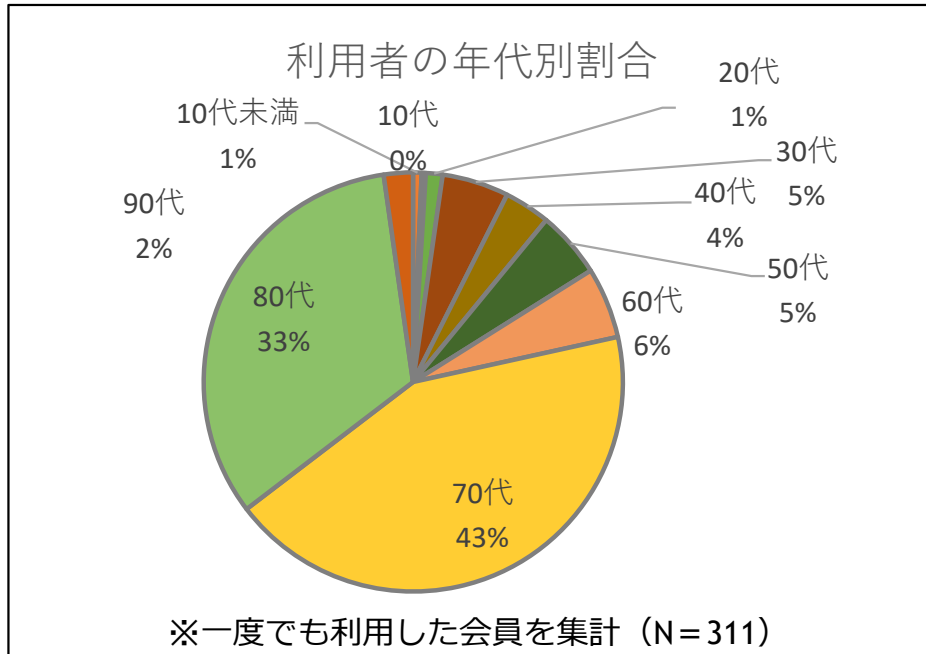


- ・ 9月30日までの213日間の運行で延べ6,989人の会員が利用（非会員同乗者含めると延べ7,164人）
- ・ 7月以降、利用者が増加傾向にあり、40人/日程度利用されている。
- ・ 8月30日には、最高乗車人数（53人）を更新。

手稲区におけるデマンド交通実証実験について

2. これまでの利用状況（令和5年9月30日時点）

<詳細利用状況>



	4月末	9月末（今回）
全利用者に占める70代以上の割合	78%	78%
60代以下の延べ利用者数	312人	646人（+334人）
（うちWEB予約割合）	76%	75%
70代以上の延べ利用者数	2,915人	6,343人（+3,428人）
（うち電話予約割合）	78%	77%

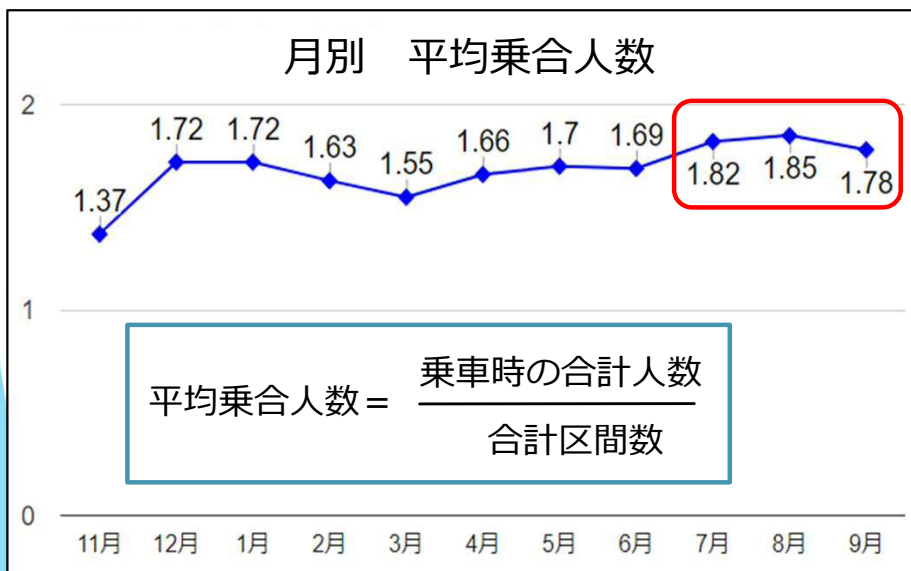
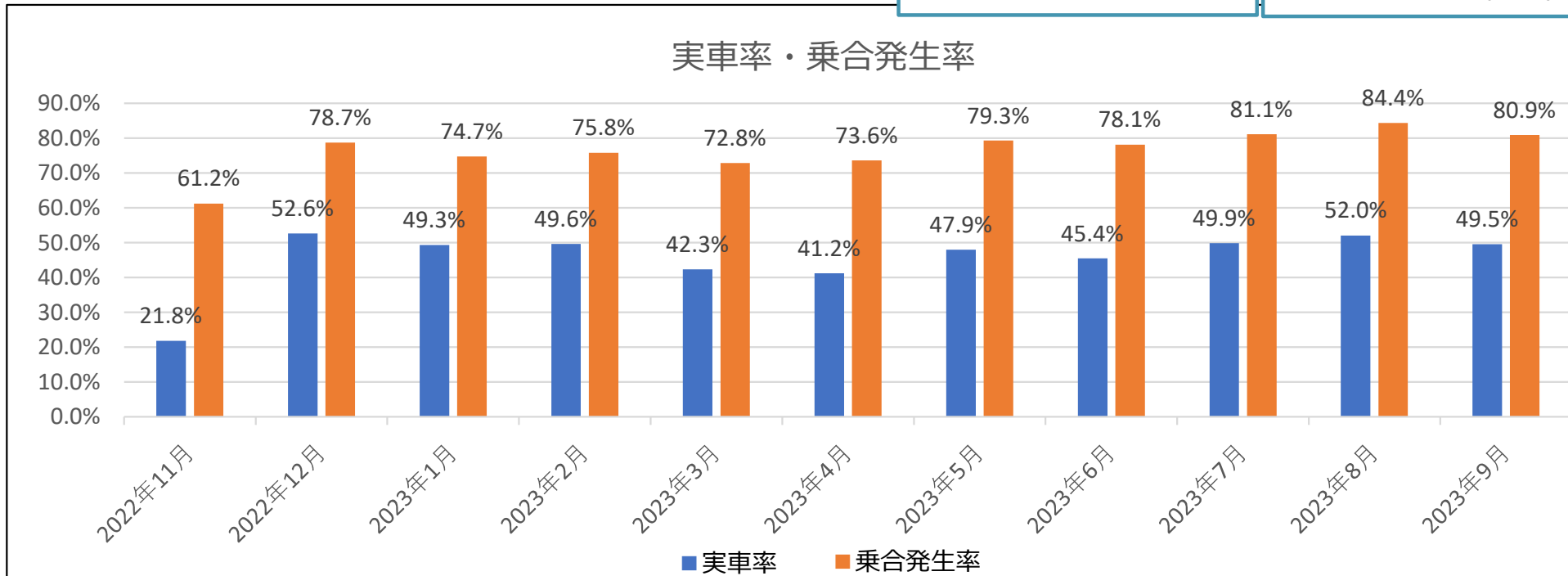
手稲区におけるデマンド交通実証実験について

2. これまでの利用状況（令和5年9月30日時点）

＜詳細利用状況＞

$$\text{実車率} = \frac{\text{利用者が乗っている時間}}{\text{利用可能時間}}$$

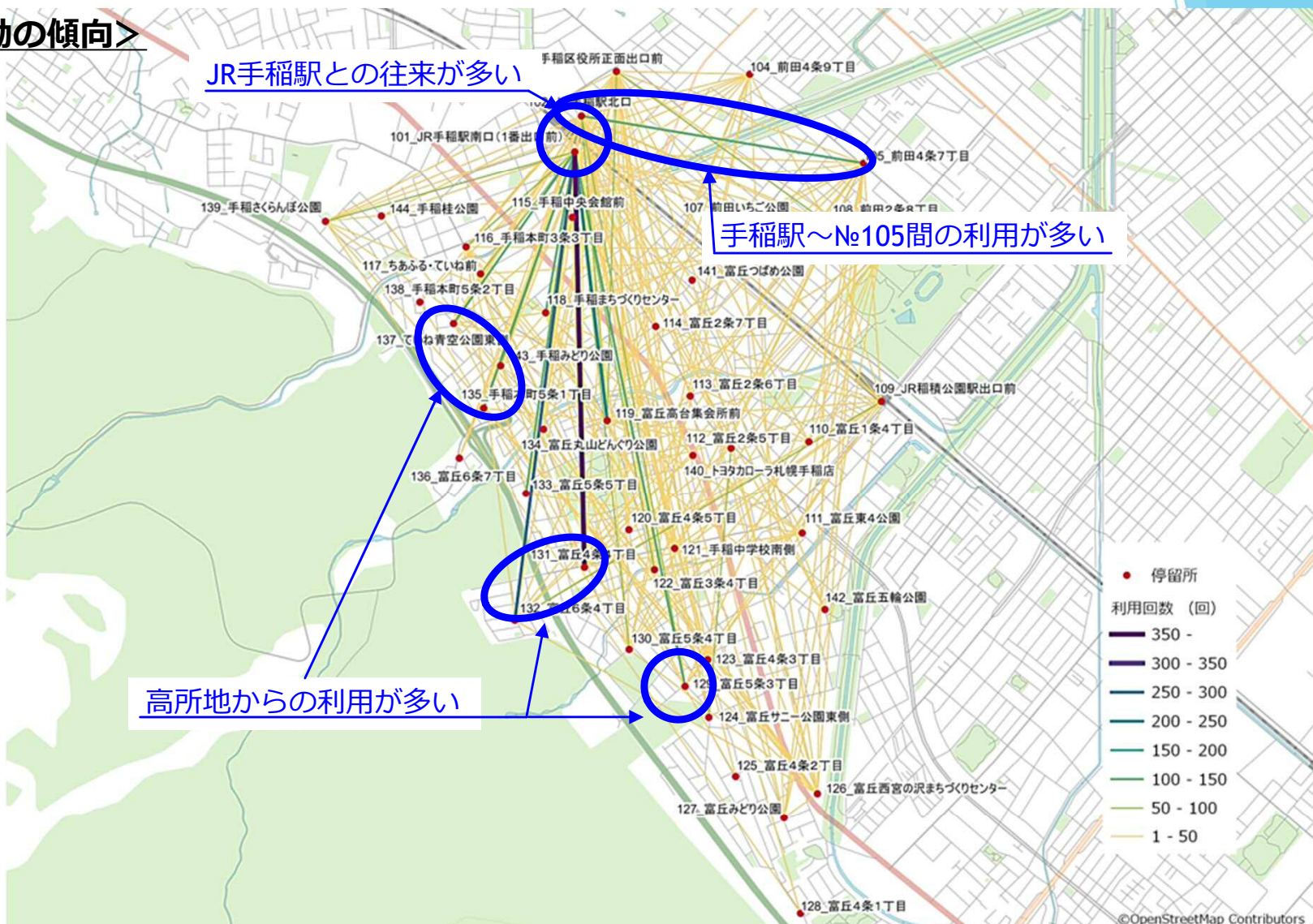
$$\text{乗合発生率} = \frac{\text{乗合となった予約件数}}{\text{総予約件数}}$$



- ・ 実車率は3～4月に40%程度まで下がった(※)が、現在は50%前後まで上がっている。
 - ・ 乗合発生率は5月以降は80%程度で推移。
 - ・ 平均乗合人数は7月以降、1.8人程度で推移しており、増加傾向にある。
- ※前回、利用可能時間は7時間と一定である中、乗車人数に変化がなかったこと、雪解けによりスムーズな運行となったことにより利用者が乗車している時間が減ったためと考察。

2. これまでの利用状況（令和5年9月30日時点）

<移動の傾向>



- JR手稲駅（南口・北口）との往来が多く割合を占めている。
- 富丘地区、手稲本町地区では、高所地での需要が多くみられる。
- 前田地区では、商業施設に近いNo105と手稲駅との往来が多くみられる。

2. これまでの利用状況（令和5年9月30日時点）

	乗降場所（上位10か所）	7～9月の 合計利用回数（回）
①	101_JR手稲駅南口	1,284
②	102_JR手稲駅北口	409
③	132_富丘6条4丁目	302
④	103_手稲区役所正面出口前	270
⑤	131_富丘4条4丁目	266
⑥	119_富丘高台集会所前	234
⑦	143_手稲みどり公園	188
⑧	129_富丘5条3丁目	179
⑨	105_前田4条7丁目	138
⑩	133_富丘5条5丁目	117

- ・6/23に新設した乗降場所についても、一定程度利用されている。
- ・特に、「143_手稲みどり公園」は7月から9月までの間に利用された乗降場所上位10位に含まれており、乗車・降車含め188回利用された。

※参考 6/23に新設したその他3か所の利用回数

142_富丘五輪公園	45
144_手稲桂公園	31
141_富丘つばめ公園	15

手稲区におけるデマンド交通実証実験について

3. その他の取組

- 地域にご協力いただき、乗降場所の新設とあわせ
「チョイソコていね」の概要について、お知らせを回覧。

**6月23日(金)
から**

「チョイソコていね」 乗降場所新設のお知らせ

令和4年11月21日から、デマンド交通「チョイソコていね」の実証運行を開始しております。
 6月23日(金)から、「手稲みどり公園」にて乗り降りができるようになりましたので、お知らせいたします。

地図

乗車場所目印

「チョイソコていね」の詳細については、
裏面をご覧ください。

お問い合わせ先 札幌市 まちづくり政策局 総合交通計画部 都市交通課
 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階
 TEL.011-211-2492

デマンド交通「チョイソコていね」とは？

予約に応じて運行する乗り合い送迎サービスです。通常のバスとは異なり、運行ダイヤ・ルートは決まっておらず、予約があったときのみ、停留所（乗降場所＝地図の●の箇所）から停留所までを運行します。

■ 利用方法

初回利用前に
会員登録する

手稲区役所1階11番窓口、まちづくりセンターにて会員登録用紙を配布しています。

電話・インターネットで
乗車予約

利用日時、乗車場所、降車場所、利用人数をお伝えください。

停留所で待つ

目的地で降車

■ 運賃

※お支払いは現金のみ

一般	350円
70歳以上	150円
障がい者手帳保有者	150円
小学生	150円
未就学児	0円

■ 運行時間

平日のみ 9:00～16:00
※土日祝・12/29～1/3はお休み

HPはこちら↓

※手稲みどり公園周辺町内会への回覧チラシ（表面、裏面）

3. その他の取組

- ・運行エリア内の複数の商業施設を中心に、事業主旨の理解促進、乗降場所の設置、協賛について交渉を行っている。
- ・現在、商業施設1件から内諾をいただいております、乗降場所増設等が決まり次第、ご報告させていただきます。

【協賛メニュー】

ご協賛メリット	ホワイト (3,000円/月)	ブロンズ (5,000円/月)	シルバー (10,000円/月)	ゴールド (20,000円/月)	プラチナ (50,000円/月)
①エリア内停留所の設置	○	○	○	○	○
②チョイソコ車両内ポスター	S	M	L	2L	3L
③地域内停留所への事業者掲載	3カ所	5カ所	7カ所	7カ所	7カ所
④チョイソコ通信へのPR掲載	○	○	○	○	○
⑤会員向け広告送付・イベント告知	○	○	○	○	○
⑥弊社HP掲載	S	S	M	L	L

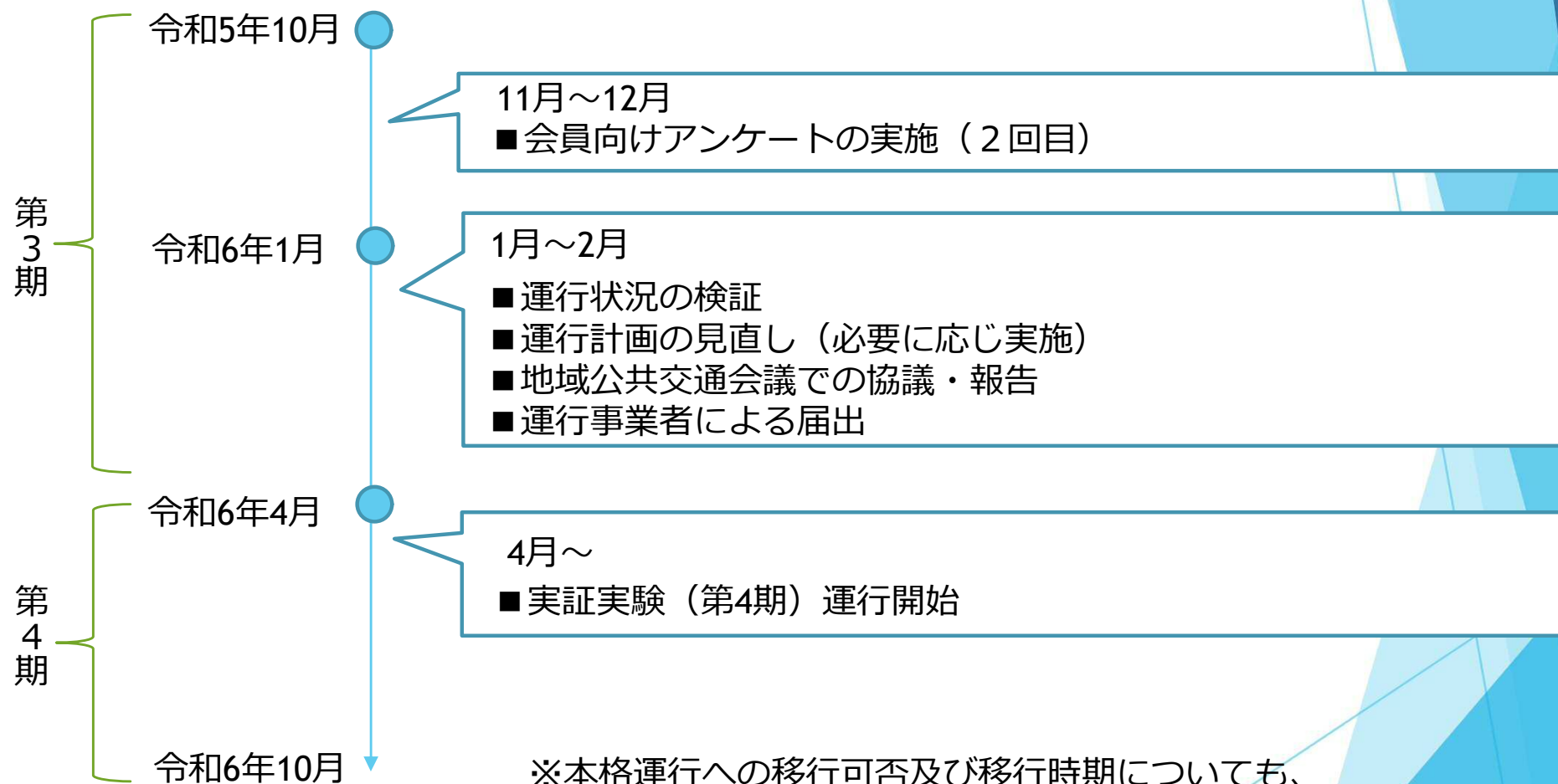
今後も、商業施設や医療機関等に対し、交渉を継続する予定。

手稲区におけるデマンド交通実証実験について

4. 検証・評価

項目	検証・評価
会員登録状況	<ul style="list-style-type: none">4月以降も会員登録者数は増加しており、<u>6月下旬の乗降場所新設も会員登録のきっかけとなった可能性</u>が考えられる。
WEB予約	<ul style="list-style-type: none">WEB予約の活用割合は約30%であり、従前から割合に変化はない。WEB予約をさらに活用していただくため、今後、会員向け広報誌「チョイソコ通信」等にWEB予約のメリット（24時間予約受付が可能であることなど）や利用方法を掲載する予定。
詳細利用状況	<ul style="list-style-type: none">実証実験開始後初めての夏期運行となるが、8月の利用が最も多いほか、最高乗車人数を更新するなど<u>季節を問わず需要があることを確認</u>。6月下旬に<u>新設した乗降場所4か所についても、一定程度の利用</u>が見られた。3～4月に落ち込んだ実車率及び乗合発生率が、5月以降、再び上昇傾向にある。<u>運行開始から一定程度経過し周知が進んだ可能性や、6月下旬の乗降場所新設が寄与した</u>と考えられる。
移動の傾向	<ul style="list-style-type: none">今までの傾向と同様、高所地とJR手稲駅周辺との往来が多い。

5. 今後のスケジュール



※本格運行への移行可否及び移行時期についても、地域公共交通会議にて別途協議予定。